

平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年7月12日

上場会社名 株式会社ライフフーズ 上場取引所 東
 コード番号 3065 URL http://www.meshiya.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大平毅
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼執行役員管理本部長 (氏名) 松本邦泰 (TEL) 06(6338)8331
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の業績(平成30年3月1日～平成30年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	3,300	0.8	53	△39.9	64	△39.2	35	△51.2
30年2月期第1四半期	3,272	△1.6	89	△32.7	105	△29.2	73	△5.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	11 65	—
30年2月期第1四半期	23 88	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	6,694	4,080	61.0
30年2月期	6,581	4,077	62.0

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 4,080百万円 30年2月期 4,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0 00	—	10 00	10 00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	0 00	—	10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,799	3.0	189	10.8	219	8.3	78	△37.8	25 72
通期	13,387	3.8	254	27.2	315	24.9	105	19.3	34 57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期1Q	3,660,400株	30年2月期	3,660,400株
② 期末自己株式数	31年2月期1Q	600,879株	30年2月期	600,879株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期1Q	3,059,521株	30年2月期1Q	3,059,544株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、堅調な企業収益に支えられ、設備投資の増加や人手不足を背景にした雇用・所得環境の改善により緩やかな景気回復基調がみられる一方、国内政治の混乱や米中貿易摩擦の動向及び東アジアにおける地政学的リスクの高まりに対する懸念材料等があり先行不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましては、競合他社の積極的な出店に加え、原材料価格の高騰や慢性的な人手不足による人件費の高騰など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は、一汁三菜をコンセプトに、旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった定食業態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開を行っております。並行して、できたてメニューにこだわった「ずめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、各業態期間限定メニューを導入し、「ずめしや」では大粒厳選のうすいえんどう豆ごはんや中落ちカルピのオニオン醤油焼き等の鉄皿での販売、「街かど屋」では豚テキ定食やユッケ風鰹たたき定食等の販売、「めしや食堂」では牛すじねぎカレー等の月替わりカレーの販売、「讃岐製麺」ではざるうどんフェアや、春限定のしっぽくうどん等を販売しました。

当第1四半期累計期間の店舗展開につきましては、新規出店が2店舗となった結果、店舗数は127店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で、売上高は3,300,759千円（前年同四半期比 0.8%増）、営業利益は53,579千円（前年同四半期比 39.9%減）、経常利益は64,332千円（前年同四半期比 39.2%減）、四半期純利益は35,630千円（前年同四半期比 51.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により3,747,059千円（前事業年度末は3,624,258千円）となりました。主要因は、セール・アンド・割賦バック取引に基づく店舗資産売却代金の増加によるものであります。有形固定資産は、新規出店店舗に対する設備投資が進んだことで1,383,754千円（前事業年度末は1,383,041千円）、投資その他の資産は、長期貸付金の減少等により1,458,405千円（前事業年度末は1,464,800千円）となり、資産の部合計は、6,694,214千円（前事業年度末は6,581,700千円）となりました。

(負債の部)

流動負債は、賞与引当金の増加等により1,620,394千円（前事業年度末は1,490,894千円）となりました。固定負債は、長期借入金の減少等により992,947千円（前事業年度末は1,012,967千円）となり、負債の部合計は2,613,342千円（前事業年度末は2,503,862千円）となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の増加等により4,080,872千円（前事業年度末は4,077,837千円）となりました。これにより、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は61.0%（前事業年度末は62.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「街かど屋」業態の新規出店と既存店売上高の回復を推進し、スクラップ&ビルドにより出・退店は新規出店8店舗、閉店2店舗で次期店舗数は131店舗を予定しております。

各業態「Q・S・C」（クオリティ・サービス・クレンリネス）レベルのさらなる向上を課題として、利益率を高め、資本効率を向上させるとともに、既存店の改装や新メニュー開発を促進して、お客様が要望される店舗作りに注力いたします。

当事業年度の業績予想としましては、売上高は13,387,966千円（前年同期比3.8%増）、営業利益は254,784千円（前年同期比27.2%増）、経常利益は315,402千円（前年同期比24.9%増）、当期純利益は105,770千円（前年同期比19.3%増）を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,146,996	3,312,574
売掛金	9,473	11,092
商品	262	245
原材料及び貯蔵品	50,486	52,723
繰延税金資産	92,099	105,823
その他	324,939	264,601
流動資産合計	3,624,258	3,747,059
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,201,917	1,214,777
その他	181,123	168,976
有形固定資産合計	1,383,041	1,383,754
無形固定資産		
投資その他の資産	109,601	104,994
差入保証金	905,823	907,294
繰延税金資産	261,993	258,837
その他	297,493	292,783
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,464,800	1,458,405
固定資産合計	2,957,442	2,947,155
資産合計	6,581,700	6,694,214
負債の部		
流動負債		
買掛金	361,759	394,782
1年内返済予定の長期借入金	104,742	104,745
未払法人税等	92,775	62,112
賞与引当金	123,330	176,988
その他	808,287	881,766
流動負債合計	1,490,894	1,620,394
固定負債		
長期借入金	168,251	142,064
長期預り保証金	98,712	98,582
退職給付引当金	457,361	462,137
役員退職慰労引当金	52,416	43,149
その他の引当金	1,665	1,416
その他	234,560	245,597
固定負債合計	1,012,967	992,947
負債合計	2,503,862	2,613,342

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成30年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	857,938	860,973
自己株式	△156,153	△156,153
株主資本合計	4,077,837	4,080,872
純資産合計	4,077,837	4,080,872
負債純資産合計	6,581,700	6,694,214

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	3,272,967	3,300,759
売上原価	1,060,792	1,082,049
売上総利益	2,212,175	2,218,710
販売費及び一般管理費	2,123,047	2,165,131
営業利益	89,128	53,579
営業外収益		
受取利息	915	654
受取家賃	39,996	42,044
その他	15,265	10,744
営業外収益合計	56,177	53,442
営業外費用		
支払利息	947	764
賃貸収入原価	38,179	40,209
その他	383	1,714
営業外費用合計	39,510	42,689
経常利益	105,795	64,332
特別損失		
有形固定資産除却損	907	0
特別損失合計	907	0
税引前四半期純利益	104,887	64,332
法人税等	31,813	28,702
四半期純利益	73,074	35,630

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。